

問1 国会における法律案の審議において、衆議院で可決された案が参議院で否決された場合でも、法律を成立させることができる「衆議院の再議決」について正しく説明しているものはどれですか。 (2019年 山形県公立入試 類似)

1. 衆議院に戻された法律案を、出席議員の3分の2以上の多数で再び可決する。
2. 衆議院と参議院の代表者からなる両院協議会において、出席者の過半数の賛成を得る。
3. 衆議院の総議員の3分の2以上の賛成により、参議院の議決を無効にする。
4. 内閣が法律案の緊急性を認めた場合、衆議院の過半数の賛成で成立させる。

問2 乾燥帯が面積の約57.2%、温帯が約25.9%、熱帯が約16.9%を占めるオーストラリア大陸の、気候と産業の関係について述べた文として正しいものはどれですか。 (2017年 山形県公立入試 類似)

1. 面積の半分以上を占める乾燥帯の地域では、広大な土地を利用した羊の放牧などが行われている
2. 面積の過半数が寒冷帯に属しているため、永久凍土が広がって農業を行うことが困難である
3. 大陸の大部分を占める熱帯の気候を利用して、アマゾン川流域を中心にコーヒーの栽培が盛んである
4. 乾燥帯の面積はごくわずかであり、一年中雨の多い温帯の気候を生かした稲作が大陸全土で行われている

問3 日本の多くの企業において、定年まで同じ企業で働く終身雇用とともに一般的であった、従業員の年齢や勤続年数に応じて、基本給や役職などの待遇が段階的に上昇していく賃金体系を何といいますか。 (2024年 山形県公立入試 類似)

1. 最低賃金制度
2. 年功序列型の賃金制度
3. 裁量労働制
4. 成果主義の賃金制度

問4 室町幕府の第3代将軍である足利義満が、京都の北山に別荘として建立した金閣（鹿苑寺）に代表される、公家文化と武家文化が融合したこの時代の文化の名称として最も適切なものを選びなさい。 (2017年 山形県公立入試 類似)

1. 東山文化
2. 天平文化
3. 北山文化
4. 国風文化

問5 四国地方の各県のデータを比較した統計において、県庁所在地の人口が約25万5000人であり、林業産出額が110億円という高い数値を示している県はどこですか。 (2022年 山形県公立入試 類似)

1. 香川県
2. 高知県
3. 徳島県
4. 愛媛県

問6 法律案が国会で可決された後、国民に広く知らせる「公布」に至るまでの一般的な流れを説明した記述として、正しいものはどれですか。 (2023年 山形県公立入試 類似)

1. 法律が成立すると、内閣総理大臣が署名を行い、国会の議長が国民に向けて公布する。
2. 法律が成立すると、まず内閣による署名・連署の手続きがなされ、その後天皇が国民に向けて公布する。
3. 法律が成立すると、内閣が署名を行った段階で直ちに効力が発生するため、公布の手続きは行われない。
4. 法律が成立すると、直ちに裁判所による憲法判断が行われ、承認された後に天皇が署名して公布する。

問7 室町時代、商人たちが有力な寺社や公家に対して「座銭」と呼ばれる税を納めた目的として、当時の経済の仕組みから考えて正しいものはどれですか。 (2017年 山形県公立入試 類似)

1. 特定の商品の製造や販売について、他者の参入を防ぎ、営業を独占すること。
2. 武士の支配に対抗するため、自治組織として独自の軍事力を持つこと。
3. 全国の関所を無料で通過できるようにし、商品の輸送コストを下げること。
4. 外国との貿易を安全に行うため、幕府の許可証を発行してもらうこと。

問8 二千七年度から二千十三年度までの一般会計収収の決算額の推移をまとめた資料によると、景気後退の影響により一般会計収収の総額が大きく減少した二千九年度には、ある税の収益も連動して減少しており、その後も総額と同様の動きを見せています。このように、個人の所得に対して課され、国の一般会計収収の主要な財源となっている直接税は何ですか。 (2017年 山形県公立入試 類似)

1. 法人税
2. 消費税
3. 所得税
4. 住民税

問9 足利義満によって建立された金閣は、伝統的な公家文化と新興の武家文化が融合した「北山文化」を象徴しています。このような融合した文化が生まれた背景について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 (2017年 山形県公立入試 類似)

1. 大陸から伝わった禅宗が武士の間で流行し、公家の伝統的な儀式をすべて廃止して質素な文化へと統一されたため。
2. 鎌倉幕府が滅亡した後、後醍醐天皇が始めた建武の新政において、公家中心の政治を武家が全面的に支援したため。
3. 応仁の乱によって京都の町が焼失したため、武家が公家の邸宅跡を利用して新しい簡素な生活様式を始めたため。
4. 第3代将軍の義満が、南北朝の合一や日明貿易の独占を通じて強大な権力を握り、公家と武家の双方を統制下に置いたため。

問10 市場経済において、ある商品の買いたい量である「需要量」と、売りたい量である「供給量」が一致し、価格が安定したときの価格を何と呼びますか。 (2019年 山形県公立入試 類似)

1. 均衡価格
2. 独占価格
3. 公共料金
4. 固定価格

問11 地方公共団体の長や議会の議員を選挙によって選ぶ制度がある一方で、特定の条例の制定や重要課題について住民投票が行われることがあります。このように間接民主制を補完する形で住民投票が行われる主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2018年 山形県公立入試 類似)

1. 間接民主制を否定し、すべての行政運営を住民の多数決のみで決定するため
2. 特定の重要課題について、住民が直接その意思を表明し、地方自治に反映させるため
3. 選挙の手間を省き、効率的に地域のルールを決定するため
4. 首長や議会議員の権限を制限し、国の直接的な統治を受け入れやすくするため

問12 ブラジルのアマゾン川流域では、広大な熱帯雨林を切り開いて大規模な開発が進められてきました。この開発をめぐる「賛成側」と「反対側」の主張をまとめたものとして、最も適切な説明文を選びなさい。 (2018年 山形県公立入試 類似)

1. 希少な鉱山資源を採掘・輸出することで経済が発展するが、開発に伴って外来種の流入が止まらなくなり、アマゾン川固有の生態系が完全に失われてしまう。
2. 内陸部の未開発地域に工業地帯を建設することで経済が発展するが、工場の排水や排気ガスによって熱帯雨林に酸性雨が降り注ぎ、樹木が枯死するなどの公害問題が発生する。
3. 先住民の生活環境を保護・整備することで地域の経済が発展するが、過度な開発によって土地の乾燥が進み、広範囲で砂漠化が引き起こされることで農業の継続が困難になる。
4. 道路の建設や農地・放牧地の拡大によって国の経済が発展するが、その一方で、広大な自然が破壊されることで二酸化炭素の吸収源が減り、地球温暖化を加速させる恐れがある。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 衆議院に戻された法律案を、出席議員の3分の2以上の多数で再び可決する。	日本の国会では「衆議院の優越」が認められています。法律案の場合、参議院で否決されたり、参議院が案を受け取ってから60日以内に議決しなかったりしたときは、衆議院で「出席議員の3分の2以上」の賛成で再び可決すれば、法律として成立します。予算や条約の承認とは異なり、法律案の再議決には高いハードル（3分の2以上の賛成）が設定されているのが特徴です。
問2	答え 1 面積の半分以上を占める乾燥帯の地域では、広大な土地を利用した羊の放牧などが行われている	オーストラリアは乾燥帯の面積が非常に広く、内陸部ではその環境に適応した羊の放牧が大規模に行われています。熱帯は北部の一部に限られており、アマゾン川があるのは南アメリカ大陸です。また、人口や主要な都市は、過ごしやすい気候である温帯の地域（南東部など）に集中しています。
問3	答え 2 年功序列型の賃金制度	この制度は、長く勤務するほど技能や経験が蓄積されるという考え方に基づき、従業員の生活の安定を図る目的で定着しました。戦後の日本経済を支えた日本的経営の特徴の一つとして、終身雇用や企業別労働組合とともに挙げられます。
問4	答え 3 北山文化	足利義満は南北朝の合一を成し遂げ、幕府の権力を確立しました。彼が京都の北山に建てた金閣は、一層が寝殿造（公家様式）、二・三層が禅宗様（武家様式）となっており、この時期の文化は北山文化と呼ばれます。これに対し、第8代將軍の足利義政が東山に建てた銀閣に代表される文化は東山文化です。
問5	答え 3 徳島県	四国地方の中で、県庁所在地の人口が約25万人規模であり、なおかつ林業産出額が100億円を超える統計的特徴を持つのは徳島県です。香川県は面積が小さく平地が多いため林業産出額は低くなり、愛媛県や高知県は人口規模や林業の統計数値が異なるため、これらの数値の組み合わせから徳島県を特定することができます。
問6	答え 2 法律が成立すると、まず内閣による署名・連署の手続きがなされ、その後に天皇が国民に向けて公布する。	法律ができるまでのフローチャートを確認すると、国会の両議院（衆議院・参議院）で可決されて法律が成立した後、まず内閣（国务大臣と内閣総理大臣）による署名の手続きが行われます。その後、天皇が「国民に広く知らせる」という形式的な行為である「公布」を行います。天皇の公布は、内閣の助言と承認に基づき行われる国事行為の一つです。
問7	答え 1 特定の商品の製造や販売について、他者の参入を防ぎ、営業を独占すること。	座の仕組みは、権力者と商人が互いに利益を得る構造になっていました。商人は「座銭」を納めることで、自分たち以外の者が同じ商売をすることを禁止してもらう特権（営業の独占）を確保しました。これにより、安定して利益を上げることが可能になりました。この仕組みは、後に市場の自由な取引を妨げるものとして、戦国時代の楽市・楽座によって否定されるまで続きました。
問8	答え 3 所得税	一般会計税収の決算額において、所得税は景気の動向に左右されやすい特徴があります。二十九年度のリーマン・ショック後の不況期には、個人の給与などの所得が減少したため、それに連動して所得税収も減少しました。法人税も同様の傾向がありますが、問題文にある「個人の所得に対して課される」という定義から所得税が導き出されます。なお、住民税は国税ではなく地方税です。
問9	答え 4 第3代將軍の義満が、南北朝の合一や日明貿易の独占を通じて強大な権力を握り、公家と武家の双方を統制下に置いたため。	足利義満は、分裂していた南北朝を合一させ、さらに明との貿易（勘合貿易）を行って莫大な富を蓄えました。彼は京都の室町に花の御所を構えて政治を行い、公家の権威をも掌握したため、建築や文化においても公家の華やかさと武家の力強さが入り混じった独特の文化が形成されました。これが金閣の構造にも反映されています。
問10	答え 1 均衡価格	市場では、消費者の需要量と生産者の供給量が常に変動していますが、これらがちょうど一致する点では、売り手と買い手の条件が折り合うため価格が安定します。このときの価格を均衡価格、取引される数量を均衡取引量と呼びます。
問11	答え 2 特定の重要課題について、住民が直接その意思を表明し、地方自治に反映させるため	住民が首長や議員を選ぶ選挙は、地域の政治全般を委ねる代表者を選ぶものですが、個別の政策（例：大規模な施設の建設や自治体合併など）について住民の意見が分かれる場合、選挙だけでは細かな民意を測ることが困難です。住民投票は、特定の争点に対して住民が直接的に意思を表す機会を保障することで、地方自治の民主主義をより確かなものにする役割を担っています。
問12	答え 4 道路の建設や農地・放牧地の拡大によって国の経済が発展するが、その一方で、広大な自然が破壊されることで二酸化炭素の吸収源が減り、地球温暖化を加速させる恐れがある。	ブラジルなどの発展途上国にとって、アマゾン川流域の開拓は、大豆の耕作地や肉牛の放牧地を確保し、輸出を増やすことで「経済が発展」という大きなメリットがあります。しかし、無計画な森林伐採によって「自然が破壊」されることは、単なる景観の損失にとどまりません。熱帯雨林は「世界の肺」とも呼ばれ、多量の二酸化炭素を吸収しているため、その減少は地球温暖化を進行させる要因となります。選択肢にある「砂漠化」は主に乾燥帯周辺で過放牧などにより起こる現象であり、熱帯雨林の破壊とは区別して理解する必要があります。